

尾道市立西藤小学校

〒729-0142 尾道市西藤町 1500 番地
電話 0848-47-2274

西藤小学校では、「自立的・協働的な学びの推進」に取り組んでいます。必然性のある学習課題を設定し、解決に向けた学びを自立的・協働的に行うことで児童の問題解決力を培います。

総合的な学習の時間

第 4 学年

目指す資質・能力 【チャレンジ力】【問題解決力】【協働力】【表現力】

「西藤の環境」

【単元の概要】

社会科、国語科との教科横断的な学習として、「西藤の環境～藤井川プロジェクト」という学習を設定する。まず藤井川の環境を調べるために、情報機器を活用したり実際に水生生物を調査したりする活動を行う。そして調べたことをもとに、藤井川の環境をよくするために自分たちができることを考え、全校児童に向けて発表したり、家庭生活において各自ができることを実践したりする。学習を通して、問題解決力や表現力を育てると共に、自分たちの地域への愛着を持たせる。

◆単元の目標

- ・藤井川の環境について調べ、地域社会の一員としてよりよい環境を築こうとする態度を育てる。
- ・藤井川の水質環境の様子や改善の方法について、情報機器を活用したり水生生物を観察したりして調べる。
- ・相手意識を持ち、調べたこと、分かったことが伝わるように、内容や発表の仕方を工夫して表現する。

◆単元の計画（全 16 時間）

学習過程	指導のポイント■ 各教科等との関連【】
【課題の設定（1時間）】 ・社会科「住みよいくらしをつくる～水はどこから」の単元末に、藤井川の環境を調べる計画を立てる。	■ 藤井川や身のまわりの環境を調べ、自分の生活との関わりを考えさせる。 【社会科】 「住みよいくらしをつくる」の学習を振り返り、水に関わる取組が、人々の健康な生活を支えていることを押さえる。
【情報の収集（5時間）】 ・水質を調べる方法や環境を守る方法について情報機器を使って調べる。 ・「藤井川水生生物観察会」に参加し、「指標生物」に着目して、調べる。	■ 班ごとに、調べる内容や調べる方法を話し合っ て活動させる。 【国語科】 「メモの取り方を工夫して聞こう」の学習と関連させ、メモの取り方を押さえる。
【整理・分析、まとめ（2時間）】 ・集めた情報を分類・整理し、藤井川の水質環境や自分たちが実践できることを考える。	■ グループで情報の整理分析をさせる。 ■ 水質と生物の関わりに着目して、考えさせる。
【創造・表現（6時間）】 ・学習発表会で、全校児童や保護者に「西藤の環境」を発表する計画を立てる。 ・どのような形でまとめるのか、視点を決めて各グループで話し合い、発表原稿をまとめる。 ・グループで発表の方法や役割などを話し合い練習する。	■ 相手意識を持たせ、伝えたいことを分かりやすく伝えるために、どのような工夫ができるかを考えさせる。 【国語科】 「みんなで新聞を作ろう」の学習を振り返り、伝えたいことを意識した文の組み立てを確認する。
【実行（1時間）】 ・学習発表会で、全校児童や保護者に「西藤の環境～藤井川プロジェクト」を発表する。	■ 発表活動を通して、一人一人に達成感を持たせる。
【振り返り（1時間）】 ・家庭生活で取り組んだ各自の実践と重ねて学習を振り返り、これからの生き方について考える。	■ 自らの学びについて自己評価・相互評価させ、地域の一員として積極的に地域に関わろうとする態度を育てる。